

Junction

No. 3 2003.4.3

CONTENTS

特集 留学体験記……………1・2
平成14年度国際交流のあゆみ……3
国際交流ふれあいフェスタ2002…4
在籍留学生ズームアップ…………5
留学生の四季……………6
故郷を遠く離れて……………6
卒業生通信……………7
国際交流センターからのお知らせ…8
国際交流協定校一覧……………8

発行/
九州産業大学国際交流センター
〒813-8503
福岡市東区松香台2-3-1
TEL. (092)673-5588
FAX. (092)673-5611

特集

留学体験記

今回、特集に寄稿してくれた2人の元交換留学生は本学での有意義な留学生生活を、2人の日本人学生はそれぞれ派遣留学体験と個人留学体験を綴ってくれました。

一人一人の立場や留学先は異なっても、「留学」という共通の体験を通して得たものは、その後の4人の学生生活をはじめ、生き方や考え方に決定的な影響を与えたようです。

単なる夢や憧れに終わらせず、留学を実現させた彼らは、何を学んだのでしょうか。また、彼らをそこまで引きつけた留学の魅力とは、何だったのでしょうか。

在学中に留学を志している新1年生の皆さんは、彼らの語学習得だけにとどまらない、異文化体験や出会いを通して自分の世界を開いた貴重な体験など、行間から熱いメッセージを読み取り、今後の留学プランを立てるうえで参考になればと思います。



地元の子供達に中国語のレッスン（李 響さん：大学院商学研究科修士課程）

日本に留学して学んだこと

日本に留学している間、私は日本や日本人のことについて、実に多くのことを吸収し、私の生涯においても、このことは本当に興味深く、張りのある時期を過ごただけでなく、自分自身をよりよく知り得ることになりました。



カーラ・ホークさん
(イギリス)
リーズ・メトロポリタン大学
ツーリズム・ホスピタリティ学部
2002年8月～12月在籍

来日してからの3ヵ月間、私は日本語を理解し、話すことがまったくできませんでした。教科書からのみ学んだ言葉だったので、とても修得できないだろうという挫折感や不安があったのですが、4ヵ月経ったところで、突如として、私の周囲の人たちが何を言っているのかがわかり始めたのです。誠に不思議としか言いようがありません。あえてわかろうとしなくても、わかるようになりました。帰国前には、自分で文章を組み立てることができるようになり、その頃から、目に見えて上達してきました。言葉をこのようにして学んだのは、はじめてでした。

生まれてから2ヵ国語、その後に修得した3つめの言語を来日前に身につけていたので、私にとって日本語を学ぶことは、まるで赤ん坊に戻ったような感じでした。

周囲の人たちを見て、ある単語がどのように使われているかを意識せずに、自然に学び取ることができました。奇跡が起こったような感じでした。はっきり言えることは、私の日本語がうまくなったのは、友人のお陰だということです。友人にも恵まれ、毎日彼らが話していることを聞くことは、本当にためになりました。西欧人の友人がいなかったため、それこそ日本語漬けの毎日でした。

日本で仲良くなった友人は、かけがえのない存在であり、そのため私はもはや彼らを外国人として見ていないし、彼らも仲間の一人として見てくれました。よく語り合ったりしたのですが、そうしているうちに日本語もうまくなり、教

科書からでは学べないようなことを吸収できました。いろんなところに旅行もしましたが、長崎、熊本、雲仙など、日本の美しさに感動したと同時に、外国人の目から見た實際を友人たちに気付かせることができました。ホームステイして以来、日本の家族の人たちとお付き合いするようになり、家族のありのままを知ることができました。日本人の本当の姿を知ったいま、日本人にまつわる古臭い神話は消え失せました。

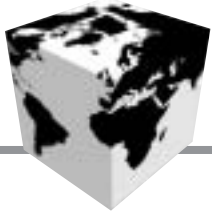
最初の頃、日本人は西洋人よりも気難しいという印象を受けることがありましたが、この認識が間違っていることがわかりました。外面的に見ると、敬語や式典などからもわかるように、日本人はフォーマルな事柄の中にアイデンティティを見出しています。歌舞伎を見に行く機会があり、本当に楽しかったです。色が鮮やかで、役者の動きや台詞回しは、初めての経験でした。それに福岡国際センターでの大相撲に招待され、実際に見ることができたのもラッキーでしたし、日本人にとってのスポーツやその意義について学びました。

日本文化と自国とは多くの相違点がありますが、基本的な部分では似ていると思います。笑ったり、泣いたりするわけですから。家族を愛し、友人を慈しむのです。人々を悲しませることや怒らせることはしたくないし、だれしも立派な国民になりたいのです。食事を楽しんだり、人生のことを語り合ったりして、打ち解けたいのです。やり方はそれぞれ違っても、求めるものは同じです。家族への思いやりは必要なことですし、いわゆる寛大な人間になることは共通の目標でもあります。

行動様式の基準が、たとえ武士道であれ、クリスチャンであれ影響を受けていたとしても、両国の文化の中にしっかり根づいています。

日本留学ですばらしい時を過ごし、人々の温かさに真から触れました。日本について多くを学んでいるうちに、アジアの国々について学んだと同時に、自分自身をつぶさに見ることができ、これまで見えなかったことにも気付くようになりました。

興味があれば、実際にその国へ行くことが一番いい方法です。イギリス国内で勉強しただけでは、決してこれほどのことを学ぶことができなかったでしょう。



特集 留学体験記

実り多き留学生活

交換留学が長い人生において節目のひとつに過ぎないと判っていても、今の私には感無量です。

私は日本語を専門にしております、交換留学で日本に来た当初、日本語能力を上達させれば、この交換留学に参加することの意味を十分得ることができらるだろう、という信念を抱いていました。しかし、日本に来てからまもなく、勉強や生活において自分の目や耳で日本文化に身近に触れ、また一人一人の日本の方と接して話し合うことによって、更に色々な書物を読むことによって、言語より国の文化、更に国境も越えて人間性を持つ異文化間の理解、寛容、尊重などが欠かせないと痛感しました。私のこの一年間は基本精神を貫徹した一年間でありました。

学習面においては、2001年度後期及び2002年度前期と合わせて、日本語、日本の政治経済、日本文学、日本哲学、日本美術、日本の風習など、幅広い分野を修得いたしました。それらの授業を通じて、担当の先生方のお話を聞かせていただきました。日本文化は、歴史の流れにおいて中国文化と深い関わりを持ち、さらに近世に入って西洋文化も受け入れ、伝統と現代を交わせ、和漢洋三大流の異質文化を見事に融合、調和させ、新しい日本文化を生み出したことを学び驚きました。また、日本が戦後になって、謎とも言える高度経済成長を遂げ、富国強兵政策から経済成長政策への大きなこの転換が、欧米諸国を追い抜き追いついた国になったことにも感心しました。中国が日本から学ぶべきことは、制度整備から都市計画や環境保護、社会福祉に至るまで実に様々であると思います。

光陰は矢の如しです。あっという間に日本留学が終わりました。短いながら様々な体験をしました。私にとって一番素晴らしい体験は、日本人の家でホームビジットしたこと。昨年11月から昨年3月に渡って、レインボープラザが主催したホームビジットのプログラムに参加して、博多区在住の井上さんご一家が交流対象になり、家族や地域の人々との交流や労働体験を通じて、日本の色々なことが良く理解できるようになりました。週1回くらいのわずかな時間を通じて、一緒に食事や世間話をしたり楽しいひとときを過ごしました。更に元日に泊まらせてもらって、翌日早起きして初日の出を見に行ったことなど、実にいい思い出が残りました。特に、日本語の勉強にとって、本当にいい経験でした。ご近所の人々とも交流を深めて、日本人の友達がいっぱいできて、うれしかったです。ホストファミリーの家族が優しく少しずつ日本文化を教えてください、心から感謝しております。

また、大学の学友会の学生と知り合いになったのをきっかけに、3月から裏千家茶道部に入って、茶会に出たり、週何回かお点前を練習し、更に新入生歓迎茶会でお点前もやらせてもらって、本当にいい経験になりました。特に裏千家の家元にもお会いでき光栄に思います。そして、この間友達と一緒に、福岡のお祭りどんたくと山笠を見に行きました。盛り上がっていた人々の歓声や動きの勢いを見るだけで、日本人の情熱を実感しながら、日本の伝統文化に近づき、親近感を得てきたのです。

現在、中国人民大学に戻って学業に専念していますが、今でも九産大のことがなつかしく思い出されます。



朱 曉 茂さん
(中国)
中国人民大学日本語科
2001年9月～2002年
8月在籍

派遣留学で得た一生の財産

私は高校生の頃から英語を勉強することが大好きでした。大学に入り、英語中心のカリキュラムをとり、英語の教職コースも受講しました。もちろん海外で勉強することも夢だったのですが、もう一歩の勇気がなく決断できずに4年生になりました。九産大に入学する前から交換留学のことは知っていて、心の底ではいつかは挑戦しようと思っておりましたが、なかなか踏み出せませんでした。しかし、4年生になりもう最後のチャンスだと思い、勇気を出して派遣留学試験に臨み決断をし、一生懸命勉強をしました。そして、努力が実り合格。夢だったアメリカでの勉強が実現することになりました。

しかし私はこれまで海外に出たことがなく、不安でいっぱいでした。留学するまでの準備ですら初めてのことでばかりで大変でした。周りの人たちのお陰で無事アメリカへ旅立つことができました。現地、アビリンに着くまでのロングフライトのせいで、夢がかなったにもかかわらず、気持ちが悪くて最悪な気分でした。しかし、現地に着くと、アビリン・クリスチャン大学の学生達が自己紹介をしてくれました。驚いたし嬉しかったです。さっそく英語で自己紹介をしました。驚くほど自然でした。私はそれまで海外に出たことがなかったので、本当に今まで日本だけで勉強していた自分の英語が通じるのか不安でした。しかし何の問題もなくコミュニケーションがとれて嬉しかったです。自分が日



池田 森彦さん
国際文化学部国際文化学科
2003年3月卒業
期 間：2002年8月～
2003年1月
留学先：アビリン・
クリスチャン
大学(アメリカ)

本で勉強してきたことが無駄ではなかったということが分かりました。

私の留学生活は長いようで非常に短かったです。英語だけでなく、国際交流や宗教観、他人との共同生活、人間関係など様々なことが勉強できました。全てがいい経験になりました。病気をすることも大きなトラブルもなく、自分のベストが尽くせたと思います。また友人がたくさんできたことは本当に良かったです。たくさんの国からやって来た学生達と一緒に勉強したり、遊んだり、笑ったり、時間を過ごすことは本当に楽しかったです。みんなと別れる時は非常に辛かったです。アメリカに行く前は不安でいっぱいだったけど、帰るときは本当に帰りたくありませんでした。それほど、アメリカでの生活は楽しかったし、充実していました。私は英語が大好きだったが、この留学を通じてもっと好きになりました。なぜなら、生まれた国、肌の色が違って、英語で話すことができたし、分かり合えることもでき、友達にもなれたからです。本当に英語の力は素晴らしいと思いました。さらに英語を勉強しようという意欲が湧いてきました。それに人間自体の素晴らしさも感じる事ができました。言葉が通じない時でも同じ人間なので、なんとかなるものだったからです。自分の英語に関して言えば、正直もっと時間が必要な感じがしています。英語は大好きなので、これからも勉強していくのは確かだけれども、また海外で勉強したいし、それは必要であると思います。6ヵ月、一学期間だけでは、英語自体に慣れることはできませんでしたが、まだ全然“自分のもの”にはできませんでした。しかし、言うまでもなくこの6ヵ月間は自分にとってかけがえのない、貴重な経験となりました。私はこの留学生活を一生忘れることはないと思うし、今後ずっと生きてくると思います。

イギリス留学奮戦記

私は昨年大学を休学し、リーズ・メトロポリタン大学に単身語学留学をしてきました。大学入学当初から海外に関わる仕事に興味があり、英語力の向上に努めていました。その中で留学というものは私にとって大きな夢であり、学生時代に成し遂げたい目標でありました。大学2年生の時に派遣留学の試験を受けましたが見事に失敗し、その年は在外研修としてリーズ・メトロポリタン大学に行きました。この時の体験により、より一層イギリスへの魅力にひき込まれ、3年生までに全部の単位を修得して今度は語学留学というかたちで渡英したいと決意しました。そして念願がかなって昨年成し遂げることができました。

単身留学ということで、渡英する日が近づくにつれて、緊張や不安は日に日に高まっていきました。しかしその状況下の中で、あちらの大学に入学許可のコンタクトを取ったり、すべての渡航の手続きを自分で行えたということは、留学する前の私にとって大きな自信となりました。しかし渡英して1ヵ月が経った日の事、英語と文化の壁と契約の不手際が原因で、数日間住所不定になってしまいました。さすがにこの時は焦り、極度のホームシックに陥りました。しかし目をそらして通れる問題でもなく、黙っていても誰かが助けてくれるという訳ではありません。そこで開き直り、必死で身振り手振りを交えながらも訴えた結果、その時住んでいた家主のご好意で後1ヵ月の延長を認めてもらいました。この事が決まった日はもの凄く重大な事を成し遂げたという充実感さえありました。また今思うと、この出来事がこれからの留学生活において、全ての問題に対して前向きになるターニングポイントになったと思います。この件以降からはイギリスでの生活にも慣れ、たくさんの外国人の友達もできてイギリスライフを満喫することができました。一生に一回、あるかないかの自国開催ワールドカップをイギリス人達とパブで観戦できた事も良い思い出でした。また、私はサッカーが大好きで、イギリスのプレミアリーグを度々スタジアムへ観戦に行きました。そこでは遠い存在だった(ベッカムをはじめとする)選手を見ることができて大興奮でした。

またもう1つの思い出として「旅行」というものがありました。学校があったのでそんなに長い期間の旅行は無理でしたが、それでもロンドンに5回、スコットランド、イタリア、フランスに行くことができました。自分で案を練って行く旅行というのは、授業では学べない英語や経験ができたので最高でした。たった8ヵ月弱でも色々な経験ができましたし、英語の勉強だけではなく、自分自身を高め、より大きな人間になることができたと思います。このようなチャンスは人生でそう何度とあるものではないので、本当に良い経験ができました。

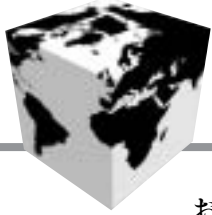


貴 船 亮介さん
(経済学部経済学科4年)
期間：2002年5月～
2002年11月
留学先：リーズ・
メトロポリタン
大学(イギリス)

派遣留学に関する問い合わせ先

平成8年度にはじめて設けられた留学プログラムは、平成15年度経済学部、商学部第一部、商学部第二部、経営学部及び国際文化学部の学生を対象に英国、米国、フランス、中国の4ヵ国5大学の協定締結校に12人を6ヵ月間派遣する予定です。詳細は『履修ガイド』に紹介されています。

国際交流センター事務室(中央会館2F) TEL(092)673-5588 直通



平成14年度国際交流のあゆみ

九州産業大学における国際交流は、学生・学術交流を中心に多方面にわたり年々盛んになっています。平成14年度における主な国際交流のあゆみを次に掲載します。



平成14年5月7日(火)～5月12日(日)
ポルドー美術学校(フランス)への教員派遣
 ◎目的：福岡・ポルドー姉妹都市締結20周年記念福岡市訪問団参加
 ◎派遣教員：
 国際文化学部
 持田 明子 教授
 (国際交流センター所長)



平成14年10月31日(木)～11月5日(火)
天津大学(中国)への教員派遣
 ◎目的：学術交流及び建築設計学生作品展開催
 ◎派遣教員：
 工学部 二神 光次 教授
 工学部 日高 圭一郎 助教授

交換留学生の受入れ

リーズ・メトロポリタン大学(イギリス)
 (平成14年8月～平成14年12月)



カーラ・ホーク さん

中国人民大学(中国)
 (平成14年9月～平成15年8月)



王 芳 さん



平成14年7月11日(木)～7月16日(火)
東西大デザイン学部(韓国)からの学生・教員受入れ
 ◎目的：学生・教員交流
 ◎受入れ：学生20人、教員3人
 ◎受入れ教員：
 柳 錫昊 教授
 李 東勲 教授
 李 英順 助教



平成14年11月3日(日)～11月8日(金)
シュトゥットガルト造形美術大学(ドイツ)からの教員受入れ
 ◎目的：協定締結後の表敬訪問
 ◎受入れ教員：
 パウル・ドライヤー 教授
 (学長)
 ピーター・リツルパウアー 教授
 (学長代理)



平成14年7月24日(水)～8月1日(木)
蔚山大学デザイン大学(韓国)からの学生・教員受入れ
 ◎目的：学生・教員交流及び集中講義受講
 ◎受入れ：学生39人、教職員3人
 ◎受入れ教職員：
 白 雲豪 教授 (副学長)
 全 聖福 教授 (学長補)
 李 武南 職員



平成14年11月13日(水)～11月15日(金)
中国人民大学(中国)からの教員受入れ
 ◎目的：学術交流
 ◎受入れ教員：
 張 昌玉 講師



平成14年7月26日(金)～7月31日(水)
忠南大学校経商大学(韓国)からの学生・教職員受入れ
 ◎目的：学生・教職員交流
 ◎受入れ：学生20人、教職員5人
 ◎受入れ教職員：
 金 源善 教授(国際交流委員長)
 具 鐘淳 教授
 田 炳珉 助教
 趙 源龍 職員
 朴 佐泳 職員



平成14年11月28日(木)～12月2日(月)
天津大学(中国)からの教員受入れ
 ◎目的：学術交流及び建築設計学生作品展開催
 ◎受入れ教員：
 李 旭 教授
 (国際合作処交流処副処長)
 盛 海濤 副教授
 閻 頤 講師

短期留学生の受入れ

ポルドー美術学校(フランス)
 (平成14年10月～平成14年12月)



セリーヌ・ティフロー さん



平成14年9月21日(土)～9月25日(水)
上海工程技術大学芸術設計学部(中国)への教員派遣
 ◎目的：学術交流(写真技術指導)
 ◎派遣教員：
 芸術学部
 小河 修次 教授(写真学科主任)



平成15年3月22日(土)～3月24日(月)
韓国地区修学懇談会開催に伴う教職員派遣
 ◎目的：修学懇談会開催
 ◎会場：22日 ロッテホテル釜山
 23日 ロッテホテルソウル
 ◎派遣教職員：
 工学部 林 正雄 教授
 (学長補佐)
 芸術学部 下村 耕史 教授
 国際文化学部 白川 豊 教授
 学生部 久保 裕道 次長



平成14年10月17日(木)～10月21日(月)
中国人民大学(中国)への教員派遣
 ◎目的：学術交流
 (日中国交正常化30周年記念
 中国人民大学第1回日本文化祭出席)
 ◎派遣教員：国際文化学部
 木村 忠夫 教授
 (国際文化学部長)



平成14年10月22日(火)～10月24日(木)
九州産業大学国際交流美術展開催に伴う教員受入れ
 ◎目的：国際交流美術展開催に伴う教員受入れ
 ◎受入れ教員：
 蔚山大学校(韓国) 李 圭鈺 教授(学部長)
 全 聖福 教授
 金 雲豪 教授
 鄭 智源 教授
 李 在元 教授
 李 弘明 教授
 東西大(韓国) 柳 錫昊 教授
 金 聖賢 教授
 吳 治珪 教授
 李 龍雨 教授
 上海工程技術大学(中国) 潘 惠德 講師
 王 心旭 講師
 王 如儀 講師



平成14年度新協定校の横顔

このほど、大学間交流協定を締結したシュトゥットガルト造形美術大学とリール・カトリック大学の横顔をご紹介します。

シュトゥットガルト造形美術大学(ドイツ)

1761年創立。ドイツの南部に位置するシュトゥットガルト市にあるシュトゥットガルト造形美術大学は、芸術分野における実践教育に重点を置いていることで知られており、彫刻、絵画、グラフィック、舞台デザイン、陶芸、ガラスデザイン、芸術教育などの15のコースを開講している。数多くの著名な教授陣が名を連ね、教授内容が学際的であり、人文科学や自然科学を中心に教えている大学とは、その性格を異にしている。多種にわたる作品等の修復のための学科を設置している点もユニークである。学生数800人

リール・カトリック大学(フランス)

1873年創立。ヨーロッパの中心に位置するリール市にあるリール・カトリック大学は、文学、法学、経済・経営学、工学、医学、神学の6つの学部・大学院を有しフランスを代表する私立の総合大学である。世界の250校と大学間協定ネットワークを持っており、ヨーロッパ・アメリカの交換学生を毎年1,000人以上受け入れている。学生数14,000人

九州産業大学と リール科学技術大学(フランス)との 第3回国際共同シンポジウム開催のお知らせ

メインテーマ：

「21世紀におけるヨーロッパとアジアの接点 — 経済的・企業経営的・文化的視点から —

日時：平成15年5月29日(木)～30日(金)
 (第1日) 9:30～17:00
 (第2日) 9:30～17:30

場所：(第1日) 福岡国際会議場
 (第2日) 九州産業大学1号館
 S201番教室

主催：九州産業大学
 リール科学技術大学



国際交流ふれあいフェスタ2002—日本人学生の参加者が増加、交流を深め好評のうちに終了—

国際交流センターでは、留学生に対する日本文化の紹介や、留学生と日本人学生との交流を深めるため、国際交流ふれあいフェスタ2002を国際交流センター懇話室を主な会場として開催しました。

昨年度は日本人学生の参加者が増加、好評のうちに終了しました。

なお、国際交流センターでは現在「国際交流ふれあいフェスタ 2003」を企画中です。

Vol.1 「演劇入門」(ミュージカル編)

—ミュージカルの魅力のすべて—



開催日: 2002/6/12(水)
開催時間: 18:00~19:30
会場: 中央会館5階51番教室
講師: 小坂 弘治 さん
(博多座常務取締役・総支配人)

Vol.4 「茶道入門」

—日本の伝統文化「茶道」の心を学ぶ—



開催日: 2002/10/25(金)
開催時間: 18:00~19:30
講師: 熊井 宗理 さん
(本名: 熊井 嵐子)
(本学裏千家茶道部指導者)
協力: 学友会学術文化会
裏千家茶道部

Vol.2 「博多祇園山笠入門」

—山笠のすべてを学ぶ—



開催日: 2002/7/3 (水)
開催時間: 18:00~19:30
講師: 東流 山崎 龍太郎 さん
(学生部厚生課厚生係長)

Vol.5 「お国自慢料理入門」

—留学生が母国の自慢料理を作り、料理のレシピを解説—



開催日: 2003/1/28(火)
開催時間: 17:30~19:10
参加国&メニュー
(中国) 水餃子
(韓国) トック鍋
(台湾) 鶏の手羽先と砂肝の煮込み
協力: 九州産業大学留学生会

Vol.3 「中国伝統音楽の夕べ」

—中国伝統楽器「胡弓」の調べ—



開催日: 2002/9/30(月)
開催時間: 18:00~19:30
会場: 1号館2階サブホール
出演:
揚 芸 さん(胡弓)
程 鳳春 さん(歌)
楊 晶 さん(琵琶・揚琴・柳琴)
当日の演奏曲目
1. 牧羊曲 2. 夜来香 3. 花好月圓
4. 日本の四季(メドレー)花~夏の思い出
~赤とんぼ~雪の降る街を
5. 草原牧馬 6. 荒城の月 7. 彩雲追月
8. 陽春白雪 9. 空山鳥語
10. コンドルは飛んで行く
11. ハンガリー舞曲第5番 12. ひばり
13. 草原情歌 14. 回娘家 15. 何日君再来

—国際交流ふれあいフェスタ2002参加者数—

	留学生	交換留学生	短大留学生	日本人生	教職員	一般	合計
Vol.1 演劇入門	19			37	18	3	77
Vol.2 博多祇園山笠入門	32			6	14		52
Vol.3 中国伝統音楽の夕べ	10	1		41	12	24	88
Vol.4 茶道入門	16	3	1	24	8	1	53
Vol.5 お国自慢料理入門	16			13	16	4	49
参加者数(延べ)	93	4	1	121	68	32	319

ふれあいフェスタ交流スナップ



Vol.2 博多祇園山笠入門
「留学生代表 法被に締め込み 初めての体験」



Vol.4 茶道入門
「留学生はお茶の道具に興味津津」



Vol.5 お国自慢料理入門
「まずは、しっかり準備を」



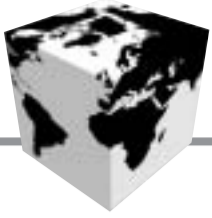
Vol.3 中国伝統音楽の夕べ
「華麗なステージに地元の人々も感動」



Vol.4 茶道入門
「お茶の心を学んだ後は、おいしくいただきました」



Vol.5 お国自慢料理入門
「やはり、試食は大盛況」



在籍留学生ズームアップ(九州産業大学留学生の現状)

九州産業大学では多くの外国人留学生在籍しています。本学の留学生数は全国の私立大学の中でも有数であり、出身も世界中の国々に広がっています。また、海外の国際交流協定締結大学との間で相互に交換留学生の派遣、受入れを行っており、国際化を積極的に推進しています。

このように、九州産業大学では国際色豊かなキャンパスを舞台に、さまざまな国際交流の場を展開しており、学生のグローバルな視野や国際感覚の醸成に最もふさわしい環境を提供しています。

今後、日常的に異文化交流に触れる機会もますます増えることでしょう。



1. 外国人留学生在籍者数上位15大学(私立大学)
平成14年5月1日現在

順位	大学名	留学生数
1	城西国際大学	1,371
2	早稲田大学	1,368
3	立命館アジア太平洋大学	1,120
4	拓殖大学	946
5	日本大学	909
6	流通経済大学	679
7	東京国際大学	666
8	大阪産業大学	665
9	明海大学	646
10	中央大学	599
11	上武大学	557
12	九州産業大学	543
13	立命館大学	529
14	慶應義塾大学	509
15	東海大学	483

文部科学省留学生課調べ

2. 九州産業大学留学生数(出身別総計)
平成14年5月1日現在

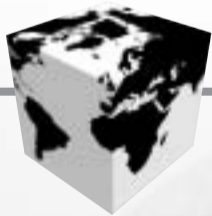
出身	学部学生数	学部研究生数	大学院学生数	大学院研究生数	合計
中国	369(157)	35(12)	69(29)	10(3)	483(201)
韓国	6(3)	5(3)	15(6)	2(2)	28(14)
台湾	9(5)	1(1)	9(4)	1(0)	20(10)
Bangladesh	1(0)	0	0	0	1(0)
フィリピン	0	0	1(0)	0	1(0)
スリランカ	1(0)	0	0	0	1(0)
ベトナム	1(0)	0	0	0	1(0)
アラブ首長国連邦	0	0	1(0)	0	1(0)
ポルトガル	0	0	1(0)	0	1(0)
チリ	0	0	0	1(0)	1(0)
ペルー	0	1(1)	0	0	1(1)
合計	387(165)	42(17)	96(39)	14(5)	539(226)

() 内の数字は女子留学生数で内数

3. 九州産業大学交換留学生数(受入れ)
平成14年5月1日現在

出身	受入学生数(学部)
イギリス	2(1)
フランス	1(1)
中国	1(0)

() 内の数字は女子留学生数で内数



九州産業大学の在籍留学生に対する支援体制

九州産業大学では、外国人留学生の修学・生活指導、福利厚生及び育英奨学等についての支援体制を整えています。主な内容は以下のとおりです。

1. 経済的支援

- 私費外国人留学生授業料減免制度
- 九州産業大学独自の給付奨学金制度
 - ①九州産業大学外国人留学生奨学金
 - ②九州産業大学大学院奨学金
 - ③上野拓記念奨学金
 - ④同窓会楠風会奨学金
- 国民健康保険料援助
国民健康保険に加入した留学生(初年度のみ)への保険料援助

2. 生活支援

- 大学所有の学生用宿舎
立花寮
- 留学生住宅保証制度

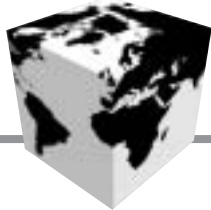
3. 修学・生活関係指導会の開催

- ①留学生オリエンテーション
- ②留学生学部別懇談会
- ③留学生大学院研究科別懇談会
- ④留学生在留生活指導会(講師:福岡入国管理局在留審査部門)
- ⑤留学生交通安全指導会(講師:福岡県警東警察署交通課)

4. 人的支援

- 留学生アドバイザーの配置
中国・台湾出身の留学生を各1人アドバイザーとして、また、韓国出身の職員を1人国際交流センターに配置し、窓口での相談等に対応。

その他、本学には遠く母国を離れた留学生同士が国境を越えて肩を組み、互いに励ましあつて勉学に精進し、国際交流に寄与することを目的として、九州産業大学外国人留学生会が組織されており、毎年、さまざまな交流行事を実施する等、活発に活動を行っています。



留学生の四季

遠く母国を離れ、本学に学ぶ留学生は、胸に描いた目標に向かって生活しています。国際交流センターでは、留学生会の協力で、四季それぞれの交流行事を開催しています。これらの交流行事には、日本人学生が参加できる行事もあり、国境を越えた友情が育まれています。

4月

入学式

H14.4.3(水) 10:00~
14:00~
体育館



新入留学生オリエンテーション

H14.4.5(金)
学部1年 9:00~11:00
大学院1年 11:00~12:00



5月

新入留学生歓迎会

H14.5.10(金) 18:00~20:00
学生食堂(中央会館)
留学生: 76人
交換留学生: 2人
日本人学生: 83人(協カサークル含む)
教職員: 32人
計: 193人



新入留学生バスハイク

H14.5.26(日)
阿蘇山(熊本)
留学生: 74人



7月

留学生交通安全指導会

H14.7.10(水) 12:20~13:10
1号館 N101番教室
留学生: 174人



10月

留学生ホームビジット

H14.10~11
留学生: 62人
受入れ教職員: 23人



11月

留学生在留生活指導会

H14.11.1(金) 10:00~11:00
1号館 N101番教室
留学生: 139人



香椎祭(模擬店)

H14.11.2(土)~4(月)
中国
韓国
台湾



留学生学部別懇談会

H14.11~12
各学部会議室等
留学生: 133人



12月

留学生クリスマスパーティー・カラオケ大会

H14.12.19(木) 18:00~20:00
学生食堂(中央会館)
留学生: 120人
交換留学生: 2人
日本人学生: 56人
教職員: 18人
計: 196人



1月

留学生大学院研究科別懇談会

H15.1.27(月) 10:00~12:00
1号館7階大会議室他
留学生: 38人



3月

留学生送別会

H15.3.14(金) 18:00~20:00
福岡リーセントホテル

学位授与式

H15.3.20(木) 10:00~
体育館



故郷を遠く離れて



ペレズ・テオディー・ボイリーさん
(O2DAC09)

大学院芸術研究科 博士後期課程
造形表現専攻 2年
フィリピン(ミンダナオ島ダバオ市) 出身



太平洋に浮かぶ7千を超える島々。輝く太陽の下であふれる緑、咲き乱れる花々、そして青いサンゴ礁。強烈な原色の国から留学してきたペレズさん。彼は昨年4月、大学院芸術研究科博士後期課程に入学し、日夜、研究に創作活動に励んでいます。

ここでは、故郷フィリピンから遠く離れて留学生生活を送っているペレズさんに、インタビューしてみました。

〈日本留学の動機は何ですか〉

「日本とフィリピンにおける西洋美術が与えた影響の比較」がフィリピンにいたころの私の研究テーマであり、当然フィリピンについては、母国で研究したので、日本については、直接日本に行きたくて研究したいと考え日本留学を決意しました。まず、長崎大学で6か月間、日本語の短期研修を受けた後、佐賀大学大学院の修士課程で2年間研究し、昨年4月に九州産業大学の大学院博士後期課程に入学しました。現在では、研究の視点を変え、絵画(油絵)制作にコンピュータを取り入れた手法に取り組んでいます。

〈福岡に来たときの印象はいかがでしたか〉

佐賀大学にいたころから、福岡にはよく来ていました。同胞の友人も何人かいますし、美術館をまわったり、また、パソコンが好きなので、大型の家電店にもよく行きました。福岡は都会という印象が強かったですね。高いビルが多いし、しかもハイテク化が進んでいると思いました。ビルの壁面にある巨大なスクリーンは初めて見ました。また、都会の割には、大濠公園など中心地にほど近い所に緑の多い公園があったりしますので、住みやすい街だと思っています。

〈日本人の印象はどうか〉

非常に親切で礼儀正しいと思います。最初に日本に来たころは、日本語もあまりできなかったのですが、片言の日本語でも、必死に分かろうと努力してくれました。また、時間に正確だと思います。

〈福岡での生活はどうか〉

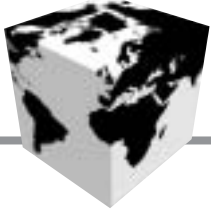
住まいは、大学から徒歩10分くらいの所にアパートを借りて妻と二人で暮らしています。食事は大分日本食にも慣れて、納豆以外は殆どおいしくいただけるようになりました。日本の食べ物では、「焼き鳥」「天ぷら」「たこ焼」「鍋物」などが大好きです。特に、焼き鳥は大好きでアパートの近所の焼き鳥屋さんによく妻と行きます。最近では、店の大将とも親しくなり、焼き鳥をおまけしてもらっています。

〈将来の進路は考えていますか〉

国立フィリピン大学で美術の教員になることが目標です。フィリピンでは東洋美術があまり知られていないので、日本を始めとした東洋美術の研究をライフワークとしていきたいと考えています。また、フィリピンの美術関係の教育機関では、テキストを使わずに教えるのが一般的なので、テキストで使えるような本を出版することが夢です。

〈最後に故郷フィリピンのお話を聞かせて下さい〉

フィリピンは太平洋に浮かぶ7千を超える島々からなります。面積は約30万km²で、人口も7,650万人と、日本をやや小規模にした感じです。気候は1年をとおして、気温・湿度の高い熱帯モンスーン型で、季節風の影響によって、乾期・雨季に分けられます。言語については、国の公用語はタガログ(フィリピン)語ですが、共通語は英語でアジア通用度が高いと言われています。主食は日本と同じごはん、レチオン(豚の丸焼き)やキニーラオ(ココナツミルクを使ったフィリピン風刺身)等が有名です。その他マンゴ、パパイア、ドリアなど南国特有のフルーツが1年中豊富に獲れ、大変おいしいです。ぜひ、皆さんも機会があったら、フィリピンの原色の世界を体験してみてください。



卒業生通信



桜とともにある心象風景

金 小 暎 (韓国)
〔1999年3月国際文化学部国際文化学科卒業〕

大学を卒業してもう4年近く経ちます。ゆっくり学生時代のことを思い出す余裕もなかったのに、おかげでタイムマシンに乗った気分が懐かしい思いをしました。

入学時、同級生の平均年齢よりも5歳上の私は、おそらく大学1年生には見えなかったでしょう。

24歳で大学生になった私は、大学時代にできることは全部やりたいと欲張っていました。「キャリアウーマンになりたい」という、留学当初の目標に向けて勉強と大学内外での活動に一生懸命でした。留学生としては初めて国語の教職免許状も取得し、さらに各種の資格も取りました。

私費留学生にとって、目標に向かって勉強に集中するには、学費の負担を軽くすることも大切です。奨学金と修学費免除は生活を支える大きな力だと思います。後輩のみなさん！こういう大学のシステムを大いに活用することも忘れないでください。

そして、日本の社会を勉強するために、学業に支障のない範囲でアルバイトをするのであれば、良い経験になると思います。大学外での経験は社会へ出てからも自分の財産になるからです。

卒業後、朝日新聞福岡本部の社会部の契約記者として仕事をしました。運もよかったと思いますが、大学での暮らしが充実していたことが大きかった

と思います。日本の社会に飛び込む不安と期待のなか、「やればできる」という気持ちでチャレンジした当時の思い出が懐かしいです。

日本で暮らした10年を振り返り、今も心の中に大切に抱いている言葉があります。恩師である林力先生の「人との出会いは財産だ」という教えです。

林先生の「部落問題論」という講義を聞いて、日本の歴史や日々の暮らしではあまり表に出てこない日本の事情、人権、差別とは何かを深く考えるきっかけになったのです。この授業と先生との出会いは、私の人生を変えた大きな財産となりました。

林先生の紹介でいろんな分野の方々との出会いが生まれ、私の人間関係はずいぶん広がりました。

外国での暮らしは、はた目にはわかりにくい苦労も多いものです。努力してもうまくいかない時だってあります。そんなときに、力になってくれる人がいれば、辛さを乗り越えられます。

勉強に集中することは大切ですが、積極的な大学生活も大事だと思います。限られた4年間を大いに楽しんでください。

桜の咲く季節になると、中央会館のそばの丘に咲いていた桜を思い出します。卒業後、大学のそばを電車で通るとき、毎年きれいなピンク色で大学を飾っていました。

昨年10月に帰国して、現在は翻訳家として仕事を始めました。母校とは遠くなってしまいましたが、桜の咲く時期に合わせて、何かの口実を作って母校を訪ねたい気持ちが膨らんでいきます。



なつかしい日々のKSU

佐々木 正男 (アメリカ)
〔1997年3月芸術学部写真学科卒業〕

私はアメリカ合衆国ノースカロライナ州ローリー市で生まれ、1989年に日本にきました。3年間以上広島で日本語を勉強し、1993年に九州産業大学芸術学部写真学科フォト・クリエイティブ・コースに入学しました。宗教学(中島先生)、日本語1部B(故阿満先生)、写真史(石川先生)、制作実習(菅先生)、表現実習(丸尾先生)、創作論(小河先生)などの素晴らしい授業を受けました。九州産業大学同窓会楠風会奨学金や九州産業大学外国人留学生奨学金など頂いたため、アルバイトに苦勞する必要がありませんでした。

3年生の時から小河修次先生の研究室に所属し、九州産業大学の文化祭(香椎祭)に参加しました。先輩の百瀬先生が浴衣を着せてくれて、大きな日の丸を顔に描きました。お客さんに向かって、ジャンプをしながら、元気いっばいに修ちゃんうどんを宣伝しました。楽しかったです。

石川先生のお陰で私は日本大学大学院を受験することを考えました。1997年4月に日本大学大学院芸術学研究科映像芸術専攻写真分野に入学して、特殊写真技術「ポスタリゼーション」を研究しました。写真を勉強しな

がら、絵画も描きました。東京都美術館で私の絵画作品が何回も展示されましたが、芸術家として生活することができませんでした。

大学院2年生の時に上海の美人に出会って、結婚しました。家庭の安定のため、英語の先生になろうと考えました。まず、埼玉YMCAの専任英語講師になって、日本の子供たちに英会話を教えました。その2ヵ月後に青山英語学院の主任英語講師になって、子供から大人まで、いろんな人に英語を教えました。九州産業大学で学んだ映像技術や理論を授業に生かしました。2000年に明星大学の非常勤英語講師になりました。明星大学で映像を用いて、楽しい授業を目指しました。この頃、私の娘が練馬総合病院で生まれました。

現在、私は明星大学、淑徳大学、駒澤大学と桜美林大学で英語を教えています。授業中にたくさんの写真や映像を使って、旅行、留学、海外労働、国家安全保障などについて英語で指導しています。九州産業大学の先生方の教え方が自分の教え方に大きく影響しています。先生方にとっても感謝しています。

昨年の夏に妻と子供(りさ、3歳)を連れて、九州産業大学へ遊びに行きました。石川先生と会って、昔話をたくさんしました。りさは3カ国語(英語、中国語、日本語)を話せます。将来、りさも九州産業大学で勉強するかもしれません。 See you again!



大学生活の思い出

葉 純 青 (台湾)
〔1998年3月芸術学部美術学科卒業〕

真っ白いキャンパスノートと4つに切って、バインダーの穴をひもで結んだ筆談用紙。誰かと話をするときはいつもそれを手に持っていた。台湾から福岡に留学生として渡ってきたばかりで、まだ日本語の会話ができなかった頃の私。会話はできなくても、漢字を紙に書けば、およその意味は伝わるから…。

最初は「名前」とか「何時」とか、本当に単純な言葉だけ。気持ちはなかなか伝わりません。それでもなんとかコミュニケーションをとろうと必死でした。授業中は周りの人がしていることを、よくわからないけど真似したり。でもそのうちだんだんいろんな言い回しを覚えてきて、少しずつ自分の気持ちが伝えられるようになり、それにつれて友達ができてきました。最初に仲良くなって、大学生活の間ずっと仲良かった友達は沖縄出身の女の子。福岡の人の博多弁はなかなか聞き取れなかったけれど、彼女の日本語はとてもわかりやすかったです。

九産大では芸術学部美術学科で油絵を専攻していました。でもあまり優等生ではなかったな。思い出といえば卒業の時…。芸術学部の中では珍しく就職もすんなり決まり、卒業を控えた春休み、あの沖縄出身の友達と二人でハワイに卒業旅行に行きました。思いっきり遊んで真っ黒に日焼けして帰って

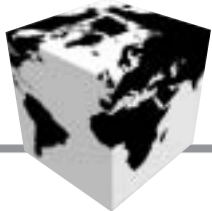
きました。

実は、卒業するまでには、本当に大変な思いをしました。私が作品制作に苦勞しているのを見兼ねた友達たちが徹夜してまで作品の制作を手伝ってくれたからこそ何とか卒業できたのです。先生のご指導に感謝するとともに周りの友達の温かい友情と協力に今でも感謝の気持ちでいっぱいです。あの頃の友達はいま頃どうしているかなと、ときどき思いをめぐらせています。あの時ほど友達の有難さを知ったことはありません。そしてついに作品ができあがって、なんとか卒業できたのでした。その時の苦勞も今ではなつかしい思い出になっています。

卒業後はアドテンポ株式会社で通訳兼デザインアシスタントの仕事に就きました。その後日本に帰化したり、いろんなことがありました。沢山の人の出会いや別れ、楽しいことや悲しいこと、母国を離れての生活は、苦勞もあります。

今年で日本に来てちょうど10年になります。実はこれをひとつの節目に、この春台湾に戻ることに決めました。そして引越しの準備をしていたところ、思いがけず九産大から電話があつて、このコラムの依頼をいただきました。まるで神様が、台湾に戻る前に日本での生活を思い返しなさい、そして新たな出発にしなさい、と言っているみたいに思いました。

日本での生活を思い返して、最初に思い浮かぶのはキャンパスノートと4つに切った、あの筆談用紙。今はもう残っていないけれど、ドキドキしながら人に気持ちを伝えたかったあのころの私。日本での原点です。



国際交流センターからのお知らせ

〈気軽に声をかけて下さい〉



国際交流センターでは、外国人留学生の留学生活における相談（住居、在留資格、医療関係、奨学金等）や、留学に関する相談等を中心に業務を行っています。また、国際交流センター懇話室では、各種留学に関する情報や海外の協定校から贈られたためぐらしい記念品等の展示を行っており、身近な懇話室を利用して、キャンパス内で異文化体験、留学生との交流をしてみませんか。

国際交流センター事務室には、職員の他、本学の留学生がアドバイザーとして窓口で対応していますので、困ったことやわからないことがあれば、気軽に声をかけて下さい。

シリーズ〈お国自慢料理入門〉

～韓国編～

今回から始まるシリーズ〈お国自慢料理入門〉の1回目は韓国編で「トック鍋」を紹介しします。シリーズで紹介する料理は、留学生が幼い頃から慣れ親しんだ家庭の味を再現できるようにしております。一度チャレンジしてみたいかがでしょうか？

材料 もち（トック）・牛肉（赤身）・大ネギ・たまご・ゴマ油・塩・こしょう・のり・すりごま

作り方

- ① 鍋に水と細切りにした牛肉を入れ、だしを作る。
 - ② だしが充分に出たら、もち（トック）を入れて煮込む。
 - ③ もち（トック）が柔らかくなったら、大ネギを入れる。
 - ④ 塩・こしょうで味付けをする。
 - ⑤ 最後に、ゴマ油を入れ、たまごをかき混ぜながら鍋に入れる。
 - ⑥ のりとすりごまを食べる直前にかければ、出来上がり。
- ※ ポイント：スープのとろみ加減は煮込む時間によって異なります。お好みに合わせて調整してください。



九州産業大学国際交流協定校一覧

交流形態	大学名	国名/都市名	大学の紹介	ホームページアドレス
大学間交流	天津大学 Tianjin University	中国 天津市	創立後100年以上の歴史をもち、中国国内や世界的にも屈指の理工学系大学として知られている。	http://www.tju.edu.cn
	☆リバプール・ジョン・モーズ大学 Liverpool John Moores University	イギリス リバプール市	国際交流に極めて熱心であり、世界各国の大学と国際交流協定に基づく学生の交換留学を行っている。	http://www.livjm.ac.uk
	☆リーズ・メトロポリタン大学 Leeds Metropolitan University	イギリス リーズ市	建築学、化学、社会政策、行政学の分野での評価が高い。産業界との結びつきも強く、実践的教育が特徴。	http://www.lmu.ac.uk
	☆アビリン・クリスチャン大学 Abilene Christian University	アメリカ テキサス州アビリン市	学生は全米50州から、外国人留学生は60カ国から約300人が学んでいる。	http://www.acu.edu
	☆リール科学技術大学 Université des Sciences et Technologies de Lille	フランス リール市	リール科学技術大学は、経済・社会学系と理工学系からなり、別名リール第1大学という。	http://www.univ-lille1.fr
	☆中国人民大学 Renmin University of China	中国 北京市	中国政府が現在推進している「21世紀の重点大学プロジェクト」でも指定を受けている総合大学。	http://www.ruc.edu.cn
	東国大学校 Dongguk University	韓国 ソウル市	1953年韓国最初の総合大学として認可を受けた私立大学の有力校。仏教大学と文科大学は伝統がある。	http://www.dongguk.ac.kr
スポーツ交流	中央大学校 Chung-Ang University	韓国 ソウル市	国内No.1の評価を得ているバスケットボール部、サッカー部及び硬式野球部等が課外活動の中心。	http://www.cau.ac.kr
学部間交流	忠南大学校経商大学 Chungnam National University	韓国 大田市	1995年韓国の国立大学に認定され、同年に韓国初の大学総合評価において3位に選ばれた。	http://www.chungnam.ac.kr
	蔚山大学校デザイン大学 University of Ulsan	韓国 蔚山市	韓国の三大企業の一つである現代グループが経営している大学としても有名で、就職率も全国3位と高い。	http://www.ulsan.ac.kr
	東西大学校デザイン学部 Dongseo University	韓国 釜山市	教育方針は、外国語、コンピュータ、産学協同の教育などを重点にしている。	http://www.dongseo.ac.kr
	上海工程技術大学芸術設計学部 Shanghai University of Engineering Science	中国 上海市	上海市に象徴的な改革・開放政策に不可欠な工業技術、芸術設計分野の人材輩出を主な目的としている。	http://www.sues.edu.cn
	中国人民大外国語学部 Renmin University of China	中国 北京市	中国政府が現在推進している「21世紀の重点大学プロジェクト」でも指定を受けている総合大学。	http://www.ruc.edu.cn
	ボルドー市（ボルドー美術学校） École des Beaux-Arts de Bordeaux	フランス ボルドー市	美術（絵画・デッサン・彫刻・版画・写真・ビデオ）、デザイン、コミュニケーション及びグラフィックアートの各科からなる。	http://www.mairie-bordeaux.fr

☆印は平成14年度交換留学実施大学

〈平成14年度協定締結校〉

交流形態	大学名	国名/都市名	大学の紹介	ホームページアドレス
大学間交流	シュトゥットガルト造形美術大学 State Academy of Art and Design Stuttgart	ドイツ シュトゥットガルト市	1761年に創立され、芸術分野における実践教育に重点を置いていることで知られている。	http://www.abk-stuttgart.de
	リール・カトリック大学 Université Catholique de Lille	フランス リール市	世界250校と大学間協力ネットワークを持つフランスを代表する私立の総合大学。	http://www.fupl.asso.fr